

観光コースでない
南信州・野麦峠

宮川彰先生と行く 日本資本主義のルーツを訪ねる旅



明治時代、生糸の生産は、当時の輸出総額の3分の1を支えていました。

現金収入の少なかった飛騨の農家では、2月も半ばを過ぎると、12歳そここの娘たちが飛騨古川の旅館「八ツ三館」に1泊し、迎えにきた岡谷の製糸工場の人と野麦峠を超えて信州の製糸工場へ「糸ひき」として働きに行きました。

1日目は、製糸工場のあった岡谷、諏訪から松本へ。「観光コースでない南信州」を見学します。

2日目は、野麦峠を通り、飛騨古川の「八ツ三館」、映画「あゝ野麦峠」の主人公・政井みねの故郷河合町を訪ねます。宿泊は長野県松本市の美ヶ原温泉のホテルです。「ゆったりとした時が流れる寛ぎの館内の温泉」で、身も心もリフレッシュ！交流も楽しみです。

2014年 **4月20日(日) 21日(月)**

名古屋を朝8時に出発 大型バスで行きます

[宿泊] 松本美ヶ原温泉 ホテルニューことぶき

[費用] 24,000円(20日昼食、ホテル1泊2食、21日昼食、
見学入館料、交通費、旅行保険料含む)

[定員] 40名(先着順)

[主催] 名古屋資本論講座ボランティア・ほっとブックス新栄

TEL:052-936-7551 FAX:052-936-7553 hotbook@muse.ocn.ne.jp

4月20日～21日「資本主義のルーツを訪ねる旅」申込書

FAX:052-936-7553

お名前

TEL

FAX

ご住所 〒